



学校だより

バンクーバー補習授業校

2025年度
第19号
2025・11・26

学年を超えてつながる楽しさの体験

～小学部「縦割り活動」・中高等部生徒会「クイズ大会」～

11月22日（土）昼休み、小学部「縦割り活動」と中学部・高等部「生徒会クイズ大会」を実施しました。



小学部 縦割り活動

体育館では、小学部の児童が、異学年グループで輪になって、お互いの名前を覚えるゲームに取り組みました。学年を超えて関わり合うことで、上級生は自然とリーダーシップや思いやりを発揮し、下級生は上級生の姿に身近に触れることで、上級生をモデルに安心して挑戦しようとする意欲を高めることが期待できます。年齢や立場の違う仲間とどう協力するか、どう伝えたら分かりやすいか、友だちとの折り合いをどうつけるかなど、実生活につながる協働のスキルを、日本語を介し少しずつでも身に付ける大切な機会であると考えております。

また、校舎4階の教室では、中学部・高等部の生徒会が企画したクイズ大会を行いました。「どんな活動なら全員が楽しめるか」「どのように進行すればスムーズか」を生徒会役員が話し合い、役割を分担し準備を進めました。

会場では出題チームからテンポよくクイズを繰り出され、グループごとにホワイトボードに答えを書き出し、正答が発表されるたびに歓声が上がりが大いに盛り上がりました。

こうした生徒会活動は、「為すことによって学ぶ」という特別活動の理念に基づくもので、生徒が自ら考え、計画し、実践するプロセス自体が自治や協働の力を育てる貴重な学びの場となります。



中・高等部 生徒会クイズ大会

これら児童生徒の活動の背後では、子どもたちの人間的な成長を促すために、教職員が黒子となって環境づくりに尽力しています。